

過去 十勝で暮らしていた 皆様へ
現在 十勝で暮らしている 皆様へ
将来 十勝で暮らしてみたい 皆様へ



十勝創生推進宣言 2017

<2016年3月末 → 17年3月末 上士幌町と中札内村で人口増>

磁石のように人を集める「十勝」を創る!!



平成29年5月

十勝町村会

【問合せ先】 十勝町村会事務局
住所 北海道帯広市東3条南3丁目 十勝合同庁舎 3階
電話 0155-23-6204 Email aap69842@hkg.odn.ne.jp

過去 十勝で暮らしていた皆様へ 現在 十勝で暮らしている皆様へ 将来 十勝で暮らしてみたい皆様へ

十勝創生推進宣言 2017

＜2016年3月末→17年3月末 上士幌町と中札内村で人口増＞
磁石のように人を集める「十勝」を創る！！

（米仕事と花仕事の両方が担える地域「十勝」）

JR九州の豪華観光列車「ななつ星 in 九州」の斬新なデザインで知られる、工業デザイナー水戸岡鋭治さんの書物に出てくる言葉に「米仕事」と「花仕事」があります。

水戸岡さんは岡山県の農村で育ちました。

昔の農家は朝から自分の田んぼで働き、昼からは水路整備や祭りの準備に時間を費やすのが当たり前でした。稼ぐための「米仕事」と地域社会に奉仕する「花仕事」の両方を担いました。

そして現在。高度経済成長の時代から、多くの人が大都会でサラリーマンになり、「米仕事」の専業になりました。これでは人口が急減する地域社会は維持することができません。

しかし、農林水産業を基幹産業として、日本の食料供給・備蓄基地としての役割を持ち、“フードバレー十勝”の旗印のもとに、食関連産業を中心に意欲のある優れた企業や工場が数多くある「十勝」は、米仕事と花仕事の両方が担える地域です。

米偏に花と書いて「糶（こうじ）」と読みます。米仕事と花仕事の両方ができる人がいると、糶菌のように地域を「醸す力」になります。

十勝で暮らし、暮らし続けて、是非、その力になってください。

（人生の五つの時期を安心して過ごせる地域「十勝」）

30年前から諏訪中央病院がある長野県茅野市を中心に、地域包括ケアシステムづくりに取り組んできている、医師で作家の鎌田實さんの書物に、古代インドの聖人が考えた人生の四つの時期の話が出てきます。

人間を大きくするために学ぶ「学生期」、家族をつくりビジネスを起こしたりする「家住期」、一線から退き林に入って人生とは何かを考えたりする「林住期」、そして、やるべきことをやった後、しがらみから離れて自由になる「遊行期」です。

そして現在。私たちは、「学生期」の前にもう一つ、豊かな心と健やかな体を育む「子ども期」を加えたいと思います。

今、十勝の町村はそれぞれのスタイルで、子どもにも子育て世代にも、高齢者や障害者にも、全ての人にとってメリットがある暮らしやすいまちづくりに全力を挙げています。

まちに住む人が楽しくなり、そして、外から人が遊びに来るような、磁石のように人を集めるまちづくり・地域づくりです。

地方創生の取組も今年で3年目となり、次の段階にステップアップしていかなければなりません。

住みたいまち、住み続けられるまち、夢と希望にあふれいきいきと暮らすことのできる地域社会の実現に向け、私たち十勝の町村は、北海道のトップランナーとしての自負を持って、これまで以上に皆様との結びつきを深め、引き続き、全力で十勝創生・北海道創生の推進に取り組むことを、ここに宣言します。

平成29年5月17日

十勝町村会 平成29年度第1回通常総会

音	更	町	長	小	野	信	次
士	幌	町	長	小	林	康	雄
上	士	幌	町	竹	中	貢	
鹿	追	町	長	吉	田	弘	志
新	得	町	長	浜	田	正	利
清	水	町	長	阿	部	一	男
芽	室	町	長	宮	西	義	憲
中	札	内	村	田	村	光	義
更	別	村	長	西	山	猛	
大	樹	町	長	酒	森	正	人
広	尾	町	長	村	瀬	優	
幕	別	町	長	飯	田	晴	義
池	田	町	長	勝	井	勝	丸
豊	頃	町	長	宮	口	孝	
本	別	町	長	高	橋	正	夫
足	寄	町	長	安	久	津	勝
陸	別	町	長	野	尻	秀	隆
浦	幌	町	長	水	澤	一	廣